

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測



#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP	 TRON	 Toncoin	 Avalanche
中堅	 DeXe	 Saros	 Venus
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料  
レポート

# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄

## トップ銘柄 分析ガイド 4/4

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#9	 <b>TRON</b>	Layer1	¥3,238,161,124,936	¥ 34.09	2.69倍 (ETH比)	▼0.24%
#11	 <b>Toncoin</b>	Layer1	¥1,284,908,625,363	¥ 521.92	24.64倍 (ETH比)	▼8.19%
#15	 <b>Avalanche</b>	Layer1	¥1,092,844,400,304	¥ 2,633.94	28.97倍 (ETH比)	▼18.06%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼4.76%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### TRON：TRX

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：TRON、USDT需要で強気継続へ

直近1週間のTRON (TRX) は創業者ジャスティン・サン氏が米Forbes誌の表紙を飾ったことや、テザー社がTronネットワーク上で10億USDTを新規発行したことが話題となりました。これによりTRONのステーブルコイン需要の高さが再確認され、価格も一時的に上昇しています。短期的には、米国のステーブルコイン規制動向が鍵となりますが、規制整備が前進すれば、TRXは需要拡大を背景にさらに強気展開が期待されます。テザー社の発行するUSDTは、透明性やコンプライアンスの観点で必ずしも業界最高水準とは言えないものの、市場シェアでは圧倒的なトップを維持しています。USDTが今後の規制環境に適応し信頼性を向上できれば、TRONネットワーク上でのUSDTの取引需要もさらに拡大すると期待されます。

## Toncoin : TON

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：TON、再浮上への期待高まる

直近1週間のToncoin (TON) は、市場低迷下でも好材料が集中。TON財団がSequoiaやBenchmarkなど大手VCから4億ドル超の調達を発表し、Telegram連携が強化されるとの期待が高まっています。また、先月のTelegram創業者ドゥロフ氏のフランス出国報道を機に大口投資家が活発化し、取引所からの資金流出も確認されています。短期的にはTelegram連携によるユーザー拡大期待で強気継続が予想されますが、規制リスクには注意が必要です。2024年のパベル・デュロフCEOの逮捕に伴い、約7ヶ月間TONの注目度は大きく低下したが、水面下で進められていたマーケティング施策の蓄積がある可能性が考えられ、今後の展開次第では再浮上の可能性にも期待が持てます。

## Avalanche : AVAX

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Avalanche、ETFと邦銀提携で期待

直近1週間のAvalanche (AVAX) は、ナスダックがグレースケールAVAX信託の現物ETF化をSECに申請したことに加え、日本の三井住友銀行 (SMBC) がAvalanche開発元のAva Labsと提携し、円建てステーブルコインを発行する計画が明らかとなりました。ETFの承認状況次第で機関投資家の資金流入が期待されるほか、日本の大手銀行との連携はAvalancheの実需拡大につながる可能性があり、中長期的な評価向上が見込まれます。

# CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

## 狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 4/4

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

### 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#57	 <b>DeXe</b>	DAO	¥185,044,888,210	¥2,209.93	—	▼15.07%
#230	 <b>Saros</b>	DEX	¥22,609,138,468	¥19.38	7.24倍 (JUP比)	▲137.52%
#328	 <b>Venus</b>	Lending & Borrowing	¥12,172,638,166	¥730.99	27.13倍 (AAVE比)	▼18.24%

### 狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼4.76%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

### DeXe : DEXE

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：大型アップグレードにより、トークンロックに注目

直近1週間のDeXe (DEXE) は、大型のガバナンス用ステーキング機能アップグレードが行われ、3億ドル相当のトークンが新システムにロックされました。ロックされることにより、市場での流通供給量が一時的に減少、短期的な売り圧力の軽減につながるとのこと。さらにサブDAO設立やdAppアップグレードなどエコシステム拡充策も発表され、大口取引も急増。ただ、材料出尽くし感から価格は一時的に下落しました。短期的には利回り期待で反発余地がありますが、需給悪化のリスクもあり、慎重な見方が必要です。中期的にはエコシステム拡大による価格回復を期待します。

## Saros : SAROS

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



### 注目ポイント：Saros、大型更新で高値更新へ

直近1週間のSaros (SAROS) は、Solana基盤のWeb3スーパーアプリを目指す大型アップグレードを実施し、新プロダクトやUI/UXの改善を導入しました。事前期待から価格は一時的に急伸し、3月29日には過去最高値を更新。しかし材料出尽くし感から現在は調整中です。短期的には新機能のユーザー増加が価格回復の鍵となりますが、Solana全体の動向に影響を受けやすく、中期ではエコシステム拡充次第で再評価される可能性があります。

## Venus : XVS

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

### 注目ポイント：Venus、統合承認で成長加速へ

直近のVenus (XVS) はDEX「Thena.fi」とのソフト統合に関するコミュニティ投票が市場の関心を集めています。承認されれば、約16億ドル規模のTVLを抱えるVenusの資金流動性が向上し、DeFiとAIを融合した次世代金融「DeFAIスーパーアプリ」の実現に向け前進します。短期では投票結果次第で値動きが激しくなる可能性もありますが、中長期的には統合成功によるユーザー増加と需要拡大が期待され、XVS価格の底上げ要因となるでしょう。

## 大穴：新規銘柄 発掘ガイド 4/4

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						



## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：[info@sigmainc.co.jp](mailto:info@sigmainc.co.jp)

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>